

和合

No.152
2023.5.1

題字 三浦修次

入学式



主な掲載記事

- 和合の里あれこれ……………2
- はやくおっきくなれの～！…3
- 我が家の民俗行事……………3
- よつばっこ通信……………4
- わたしが描く和合の里……………5
- わたしから見た和合の里…5
- 人生100年時代……………6
- 畑にこんにちは……………7
- わごう駐在所……………7
- 和合の里INFORMATION…8

和合の里 あれこれ

【大真木 編】

皇大神社400年祭

皇大神社は元和2年（1616年）に大真木が創基した際に、当時の村人達が自分たちを守ってくれる観世音を祀ったことが始まりといわれています。

その後、明治6年（1873年）に従来の守護神観世音を末社とし、天照皇大神を祭神として皇大神社に改めました。昭和6年（1931年）に新築に建て替えられた後、昭和30年代頃に銅版の屋根に修繕され、現在に至ります。

平成27年（2015年）に400年祭を行うにあたり、3年ほど前から部落役員と各種団体の代表者からなる実行委員会を立ち上げ、準備を進めてきました。神社畳の入れ替えや神社奉納幕の新規作成、400年祭記念碑の建立などを多くの方から奉納いただき整備することができました。

また、地域の方からの奉納で、神社参道修理や稲荷様鳥居の塗装、提燈一对、公民館のテーブルなどが整備されました。

400年祭当日は、神事と記念撮影等が行われました。その後、祝賀会が開かれました。



■ 皇大神社



■ 300年祭記念碑、350年祭記念碑と並び400年祭記念碑が建立されています

グラウンド・ゴルフ大会

公民館事業の一環として、20年ほど前からグラウンド・ゴルフ大会を開催しています。参加対象年齢を「生まれ子からお年寄りまで」とし、毎回幅広い年代からの参加があり、多いときには30名以上が集まり親睦を深めています。

コロナウイルス流行前の大会終了後には、大真木公民館で芋煮会が開かれ、参加者たちは楽しい時間を過ごしていました。芋煮会ができなくなってからは、賞品を豪華にして大会が開かれています。

花植え

大真木の花植えは村の役員以外にも、PTAや子ども達、老人クラブの会員が一堂に集まり、みんなで協力しながら1時間ほどかけて植えています。昨年は20名ほどが参加しました。

子ども達は堰で遊んだりしながらも、一生懸命に花を植え、作業が終わるとごくろめのジュースを楽しみにしています。

花植えでは、大人が子ども達を覚え、子ども達が大人を覚える交流の場となっています。



■ 花植えの様子

大真木老人クラブ

60歳以上を対象に、現在会員11名で活動しています。

活動内容はみんなで植えた花壇の管理や春に花見と冬に新年会が開かれる他、研修会を実施し、以前には長井ダムに行きました。また、いきいきサロンの開催や健康増進活動の一環として役場から保健師を招き、講話を聞いています。



■ 研修会的一幕

パパとママにインタビュー

はやぐおっきぐなれの～!



ひ お
佐藤 緋凰ちゃん

(南野)

令和4年7月18日生まれ

パパ：拓^{たく} ママ：千里^{ちさと}

① 旦那が凰という漢字を入れたい！
と言い、兄弟で色を取り入れた名
前にしようと「緋凰」になりました。

② 1番興味をもっていることはお兄
ちゃんのおもちゃを自分も欲しが
ること。くちびるをブーツとさせ
ることはまっている様子。

③ お兄ちゃんが頑張って作ったブロ
ックおもちゃタワーを一瞬で崩壊
させたこと。

④ やっとおすわりが安定してきて1
人でおすわりさせていたところ後
ろに転んでも大丈夫のようにクッ
ションをおきわすれて常に後頭部
を打たせてしまっていること。

⑤ 健康に成長して行ってね!



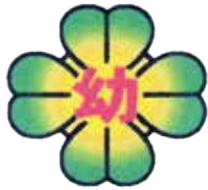
Q1 名前の由来は? Q2 今一番の興味やハマってることは? Q3 最近記憶に残ったエピソードは?
Q4 パパママの失敗談(子育てあるある) Q5 パパママからのメッセージ

我が家の民俗行事 【草餅正月】

田植え機が主流となる前は手作業で田植えを行っていました。手作業で植えるため、10日ほど日数がかかり、その期間中に雨が降り、作業ができなくなることもしばしばありました。そんなときに区長が農作業の中休みの日と決め、小走り(※お知らせなどがあつたときに部落民に伝える人)が各家々を回り、一斉に休みます。草餅正月にはヨモギの若芽で作った草餅を食べ、農作業の疲れを癒しました。草餅正月の日に働いていると注意を受けることもあつたそうです。

草餅正月は昔の季節的な農作業の臨時休日で、作った草餅は近所や親戚にも配り、親睦を深めました。





余目第四幼稚園

よつばっこ通信



新しいお友達が仲間入りしました！

4月11日（火）、入園式が行われました。かわいらしい16名のお友達が幼稚園に仲間入りしました。にこにこしている子、緊張している子、ドキドキして不安そうにしている子…様々な姿が見られました。これから幼稚園での新しい生活が始まります。お友達や先生と早く仲良くなって、楽しく過ごしてほしいと思います。



園長先生のおはなし

幼稚園は
とっても
楽しい
所だよ！

ドキドキ
するけど
楽しみだ
なあ…♡



年長児が合奏で歓迎しました♪



さくら組さんを温かい眼差しで見つめる年長児ぱんだ組さん。ちょっぴり緊張しながらも、おめでとうの言葉と『♪なかまだから』の合奏で歓迎しました。

これからは、頼りになる幼稚園の先輩として、優しくしたり助けたりなど、様々な面でリードしてくれることでしょう。



余目第四小学校 6年生 わたしが描く和合の里



ぼくは、みんなが笑顔になれるような住み心地の良い所になってほしいです。そのためには、だれにでも自分からあいさつできたり事故やけがなどおきないように気をつけたりすることが必要だと思います。



わたしが描く「和合の里」は、みんなで楽しく遊び、明るく元気な場所です。理由は、けんかや悪口がたくさんあると、とても悲しい気持ちになるからです。だから、元気で明るく楽しい和合の里を作りたいと思います。



ぼくは、和合の里が今と同じように、平和で安心して過ごせる所になってほしいです。そのために、ボランティア活動に参加したり地いきの人に元気にあいさつをしたりしたいです。



わたしが描く「和合の里」は、明るく元気な場所です。理由は、だれもが、明るくて元気でいて、みんなが和合の里で仲良く元気に遊んでいるといいなと思ったからです。そのために、私は、だれとでも仲よくたくさん遊ぶようにしたいです。

わたしから見た 和合の里



「感謝状」 和合の里の皆様

余目四小を離れ、早いもので1カ月が経ちました。長い間大変お世話になりました。新採で右も左も分からなかった6年前、和合の里の皆様と出会いました。広大な庄内平野のように広く、そして温かい心に支えられて、日々和やかな気持ちで過ごすことができました。そんな地域で育った子ども達との毎日は、びっくりするぐらい楽しいことや想像以上に面白いこと、そしてとてもない底力に感動することの連続でした。そして、そんな子ども達の成長と活躍の陰には必ず保護者や地域の皆様の支えがありました。「和合」の名の如く、人の輪が幾重にも合わさり、固い絆で結ばれている地域、そして余目四小でした。たくさん支えられ、多くの学びと何事にも代えられない経験をたくさんすることができました。小學校生活と同じ6年間という時を過ごし、私もこの春に和合の里を巣立ちました。この地での経験が今後心から感謝を申し上げるとともに、これからの和合の里の益々の発展を 前庄内町立余目第四小学校 教諭 古原 大嵩 祈っております。

人生100年時代

～ 沢新田健康100歳クラブ「さわやかクラブ」～

沢新田100歳体操クラブ「さわやかクラブ」は令和2年9月にスタートしました。毎週木曜日に会員14名の内、参加できる方が沢新田公民館に集まり、楽しくいきいき体操をしています。体操が始まる15分前には参加者が集まり、わいわいと世間話をします。これも楽しみの1つだそうです。

100歳体操の他にも偶数月はコメっちわくわくクラブから講師を招き、お手玉などを使った脳トレ。奇数月は保健福祉課から講師を招き、塩分や栄養のお話を聞いたり、体力測定などを行っています。それ以外にも年に2回ほど会食会が開かれ、みんなで楽しい時間を過ごします。また、今年度は新たに日帰り旅行を計画しているそうです。

参加者からは「みんなで集まる機会になっていい」「毎回楽しみにしている」「用事があるときは参加できないが、それもみんなわかってきているので自分のペースですることができていい」などの他、「だれでも参加できる場なので女性はもちろん、男性にもぜひ参加してほしい」とのお誘いの声もありました。



■いきいき100歳体操の様子



■いきいき100歳体操の様子



■みんなで楽しい会食会

～こんにちは！ 高齢者支援係です！～

庄内町保健福祉課主査兼
高齢者支援係長
阿良 佳代子



地域の皆様が読んで楽しく・読んで得する情報誌として発刊されている地域情報誌「和合」、第9回全国公民館報特別賞受賞、大変おめでとうございます！私たち町職員もちょっとためになる情報を、「人生100年時代」に掲載できるよう頑張りますので、ぜひこのコーナーもご一読ください！

さて、改めて私たち高齢者支援係の仕事を紹介したいと思います。高齢者支援係で

は、高齢になっても住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けることができるよう「介護予防のための話を聞きたい」「家族が認知症か心配だけど、どこに相談したらいいの？」「介護保険のサービスってどうすれば受けられるの？」「終活って聞くけど、どんなことをするの？」などの相談を受け、関係する部署や機関につないだり、要望に応じて講話などを開催します。ちょっと気になることがありましたら、ぜひお声かけください。



【連絡先】 高齢者支援係 ☎ 0234-43-0490

地域包括支援センター立川サブセンター（第四学区担当） ☎ 0234-51-2505

畑にこんにちは！

菅原 由明さん（古関）

雲ひとつない青空が広がり、桜が咲き始めた頃。今回お邪魔したのは古関の菅原由明さんの畑です。

畑には去年の秋に植えたおり菜やちぢみ菜、ジャンボにんにくなどが冬越しをして青々と成長していました。お邪魔したときはトラクターで起こした畑に鍬で畝をたて、じゃがいもを植える準備をしていました。今年は男爵、きたあかり、メークインの3種類のじゃがいもを植えるそうです。じゃがいもが植え終わったら、スナップエンドウを植え、その後、茄子やトマト、トウモロコシ、枝豆などの夏野菜を植えるとおっしゃっていました。また、野菜を上手に育てるポイントを伺うと基肥をたっぷりあげることと野菜の様子を見ながら追肥をあげることと教えていただきました。

菅原さんは小さい頃から家の手伝いで畑仕事をしていましたが、本格的には10年ほど前から始めました。今の時期は朝2時間と夕方に畑に行き、畑仕事をしています。会社員時代には午前5時に起きて午前7時頃まで作業をしていました。

畑をしていてうれしいことは収穫したての新鮮な野菜を食べることができることと親戚やお友達に野菜をあげたときに言われる「美味しい」の声。この声を聞くとより一層頑張れるそうです。特に親戚にあげる枝豆は大人気で、自分たちが食べる分はほとんどなく、枝豆の時期になると親戚から催促の声があるほど人気な一品です。



■ジャンボニンニク



■ちぢみ菜

畑以外にも吹奏楽をしていたことがきっかけで、ポップやクラシック、ジャズなどの音楽鑑賞が趣味で、演奏会があると必ず鑑賞しています。また、奥様やお友達との旅行も趣味で様々な場所に行き、温泉巡りをしています。以前は盆栽や菊づくり、社交ダンスなどもしていて、菊づくりで培った技は野菜作りに活かされていました。

野菜の育て方のポイントやさまざまな趣味の話などたくさんお話しいただきありがとうございました。



庄内警察署
菅原 直樹
(第四学区担当)

わごう駐在所

～ 2年間お世話になりました～

このたびの異動で鶴岡警察署勤務を命ぜられ、庄内警察署を離れることとなりました。この2年間、第四学区のみなさまに支えられ、楽しく勤務することができました。お世話になりました第四学区のみなさまの各ご家庭にご挨拶に行きたいところですが、この紙面の場をお借りして御礼申し上げます。

第四学区のみなさまに教えていただいたこと、経験したことを活かして、次の勤務地でも頑張りたいと思います。

今後とも庄内警察署へのご協力、ご理解をよろしくお願いいたします。
短い間でしたが本当にありがとうございました。



前田野目農村運動公園グラウンド・ゴルフ場オープン

令和5年4月13日に令和5年度前田野目農村運動公園グラウンド・ゴルフ場がオープンしました。利用期間は11月までです。



■暖かな陽気のなかでプレー

大会や交流会などで占用利用を希望の方は、余目第四まちづくりセンター（電話 44-2162）または前田野目農村運動公園管理事務所（電話 44-4010）で予約をしていただいた後、3日前まで利用許可申請書の提出をお願いいたします。

個人の方は、占用利用がない場合に無料でご利用いただけます。ぜひ、ご利用ください。

和合の里がきれいになりました

雪解け時に和合の里の10部落255名（令和5年4月11日集計時）の参加を得て、和合の里一斉クリーンデーが行われました。大人だけではなく、中学生以下の児童生徒からも参加いただき、道路や水路に捨てられているペットボトルや缶などのゴミを回収し、和合の里をきれいにすることができました。そして交流を深めることができました。

ご協力いただきました皆さんありがとうございました。



入学式が行われました

令和5年4月8日、余目第四小学校で入学式が行われました。今年の新生は18名。皆さん緊張した面持ちでしたが、最後まで立派な姿を見せてくれました。

新生の皆さん、これからも元気に遊んで、たくさん学んで、お友達をいっぱいつくって楽しい6年間を過ごしてね。



編集後記

新しい年度を迎え、新型コロナウイルスの規制緩和が進み、部落でもここ数年できなかった行事が行われるようになり、少しずつ以前の日常に戻ってきました。和合の里を創る会もこれまでできなかったイベントを開催できるように準備を進めています。皆さんからの参加をお待ちしております。



お詫びと訂正

本誌151号（令和5年3月15日発行）に掲載しました「わたしが描く和合の里」の工藤煌生さんのふりがなに誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。正しいふりがなは「こうぎ」さんです。